

伊東市地震・津波対策 アクションプログラム 2023

令和6年3月作成

(令和8年3月修正)

伊 東 市

1 基本的な考え方

国は、平成 17 年 3 月、東海地震の死者数半減を数値目標とする「地震防災戦略」を策定したところであり、防災基本計画では、地方公共団体においても、これを踏まえ、効果的かつ効率的に被害軽減策を実施するための数値目標を設定する「地域目標」を策定すべきと定めた。

これを受け、県では、県の地域目標として、平成 18 年 6 月、東海地震の死者数半減を目標とする「静岡県地震対策アクションプログラム 2006」(以下「AP2006」という。)を策定・公表し、県地域防災計画において、市町に地域目標の策定を働きかけたことから、市では、平成 19 年 2 月に、市の地域目標として、地震対策の数値目標、達成時期等を明示する「伊東市地震対策アクションプログラム」を策定した。

しかし、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災において想定を超える地震・津波により甚大な被害が発生したことから、これまでの地震・津波対策等を見直す必要が生じた。

このため、県では、新たに「第 4 次地震被害想定」を公表し、それを踏まえた「静岡県地震対策アクションプログラム 2013 (以下「AP 2013」という。)」を策定した。

これを受けて、市では「第 4 次地震被害想定」や「AP 2013」との整合性を図りながら、「市 AP」を作成・改訂してきたが、これまで、ハード・ソフト両面の対策に取り組んできた結果、多くのアクションにおいて目標値を達成することとなった。

引き続き、想定犠牲者を一人でも多く減らしていくためには、特にソフト対策をより一層推進することに加え、整備した施設の機能確保や市民の高い防災意識の維持など、取組により得られた減災効果を持続させることが必要である。また、この 10 年間に国内で発生した災害の教訓等を踏まえると、発災後の直接的な人的被害の最小化だけでなく、被災後も心身を健全に保ち犠牲を扩げないことが重要であるが、避難時の生活環境の改善や、新型コロナウイルス等の感染症対策など、各種の課題が残されている。

このため、県では令和 5 年度から令和 14 年度までの 10 年間の行動計画として、現計画の後継となる「地震・津波対策アクションプログラム 2023 (以下「AP2023」という。)」を策定した。

本市においても、これまでの10年間の成果・課題を踏まえ、静岡県第4次地震被害想定で推計される犠牲者の更なる減少を図るための対策に加え、被災後の市民生活の健全化にも重点を置き、県と連携して、防災・減災対策を推進していくため、「伊東市地震・津波対策アクションプログラム 2023（以下「市AP」という。）」を新たに策定した。

なお、これまでと同様に、定期的に達成状況の検証を行い、その結果を踏まえ、必要に応じて「市AP」を見直すこととし、メニュー及びその内容等についても、追加、削除、変更等を随時行う。

2 減災目標

第4次地震被害想定を踏まえた「AP2023」により県の減災目標を共有し、協力してその目標を達成する。

なお、既に目標達成しているメニューもあるが、現状値を維持していくことも重要であることから、当該メニューの数値目標欄に（維持）を追記している。

3 計画期間等

（1）計画期間

令和5年度から令和14年度までの10年間とする。

そのうち令和5年度から令和7年度までの3年間は、減災効果を高めるため集中的に取り組む期間としたい。

（2）アクション

減災及び被災後も健全に生活できる社会の実現を達成するため、49のアクションの取組を進める。

（3）目標指標

アクションごとに具体的な取組及び達成すべき数値目標を定めた。

数値目標は、本アクションの最終年度である令和14年度末と、減災効果を高めるため集中的に取り組む3年間の期末に当たる令和7年度末の2段階の目標を定める。

（4）アクションの実施主体

引き続き、「自助」・「共助」・「公助」の観点から、市が実施主体と

なるアクションはもとより、市民、県が実施主体となるアクションについても可能な限り組み込むこととする。

建築物等の耐震化や津波からの早期避難、飲料水・食料等の備蓄など、市民一人一人が主体的に取り組む「自助」が重要であることから、自らの命は自ら守るという防災の原点に立ち返った対策を推進する。

「自助」では解決できない課題に対しては、自主防災組織を中心に地域の住民や学校などが協力し解決する「共助」の取組を進める。

市は県と連携・協力し、「自助」、「共助」の取組を最大限支援するとともに、「自助」、「共助」では対応できない課題に「公助」として積極的に取り組む。

4 今後の取組

市 AP は、原則3年（ただし、必要に応じその都度）ごとに達成状況の検証を行い、その結果を踏まえ、必要に応じて対策と目標を見直すとともに、新たなメニューの設定等も行う。

なお、減災目標を達成するためには、市民等含め様々な機関等との連携が不可欠であることから、市 AP を伊東市地域防災計画の中に位置づけている。

5 施策体系

減災目標を達成するための方針と、8の施策分野、20の施策項目及び49のアクションからなる施策体系を定めた。

減災・被災後生活の健全化 <49アクション>

I 地震・津波から着実に命を守る <36アクション>

- 1 建築物等の耐震化を進めます <合計：4アクション>
 - (1) 住宅の耐震化 (アクション数：2)
 - (2) 公共建築物等の耐震化等 (アクション数：1)
 - (3) 火災発生抑止対策の強化 (アクション数：1)
- 2 命を守るための施設等を整備します <合計：6アクション>
 - (1) 津波から逃げる環境の整備 (アクション数：5)
 - (2) 津波に備える体制の整備・持続化 (アクション数：1)
- 3 災害時の応急体制を強化します <合計：14アクション>
 - (1) 防災拠点等の強化 (アクション数：3)
 - (2) 情報収集・連絡体制の強化 (アクション数：3)
 - (3) 消防力の充実・強化 (アクション数：5)
 - (4) 医療救護体制の充実・強化 (アクション数：2)
 - (5) 広域支援の受入れ体制の強化 (アクション数：1)
- 4 複合災害・連続災害対策を強化します <3アクション>
 - (1) 伊豆東部火山群防災対策の強化 (アクション数：3)
- 5 地域の防災力を強化します <合計：9アクション>
 - (1) 自主防災組織の活性化 (アクション数：3)
 - (2) 防災意識の高揚、防災教育の充実 (アクション数：2)
 - (3) 防災訓練の充実・強化 (アクション数：2)
 - (4) 要配慮者の避難体制の整備 (アクション数：2)

II 被災後も命と健康を守り、生活再建に繋げる<10アクション>

- 6 避難後の生活の質を向上します <合計：9アクション>
 - (1) 避難所運営体制の整備・避難生活の健全化 (アクション数：8)
 - (2) 要配慮者等の支援体制の整備 (アクション数：1)
- 7 被災後の生活に備え、備蓄を徹底します <合計：1アクション>
 - (1) 飲料水・食料等の備蓄の徹底 (アクション数：1)

III 地域を迅速に復旧し、復興に繋げる <3アクション>

- 8 地域の迅速な再建を目指し着実に復旧し、復興に繋がります <合計：3アクション>
 - (1) ライフラインの強化 (アクション数：1)
 - (2) 遺体への適切な対応 (アクション数：2)

個別アクション一覧

I 地震・津波から着実に命を守る

1 建築物の耐震化を進めます

(1) 住宅等の耐震化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
1	住宅の耐震化	住宅の耐震化率 (防災ベッド・耐震シェルター含む)	83%	95%	— ※1	建築住宅課
2	家庭内の地震対策の促進	家庭における家具類を固定している部屋又は家具類を置いていない安全な部屋がある割合	85%	95%	100%	建築住宅課

※1 伊東市耐震改修促進計画において規定しており、現時点では令和7年度までの計画であることから、令和14年度の数値目標については未設定

(2) 公共建築物等の耐震化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
3	市有公共建築物（小中学校の校舎・体育館・市営住宅等を除く。）の耐震化	市有公共建築物（小中学校・社会福祉施設・保育園・市営住宅等を除く。）（53棟）の耐震化率	81%	87%	100%	各所管課

(3) 火災発生抑止対策の強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
48	感震ブレーカーによる火災発生抑制	感震ブレーカー設置費補助事業の申請件数	—	9%	100%	危機対策課

2 命を守るための施設等を整備します

(1) 津波から逃げる環境の整備

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
4	津波避難訓練の充実・強化（市）	メイン会場を設けた津波避難訓練の実施	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
5	津波避難訓練の充実・強化（自主防災組織）	津波災害警戒区域内にある自主防災組織の津波避難訓練の実施率	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
6	津波誘導標識の整備（海拔標示）	海拔標示看板の整備、定期的な更新	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
7	津波誘導標識の整備（路面標示）	津波路面誘導標示の整備、定期的な更新	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
8	津波誘導標識の整備（看板）	津波避難誘導看板の整備	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課

(2) 津波に備える体制の整備・持続化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
9	津波避難困難地域の解消	津波避難困難地域の解消率	99%	99%	100%	危機対策課

3 災害時の応急体制を強化します

(1) 防災拠点等の強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
10	防災拠点における非常用電源の整備	広域避難場所（18施設）における非常用電源（発電機使用も含む。）の整備率	39%	49%	100%	危機対策課
11	災害対策本部の機能強化（運営）	災害対策本部運営訓練の実施率	100%	100%（維持）	100%（維持）	危機対策課
12	災害対策本部の機能強化（資機材）	災害対策本部の資機材整備（デジタル等）	0%	100%	100%（維持）	危機対策課

(2) 情報収集・連絡体制の強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
13	孤立地域対策の促進（通信手段の確保）	集落散在地域の孤立予想集落（8集落）における通信手段の整備率	75%	100%	100%（維持）	危機対策課
14	災害時の情報伝達	テレビプッシュサービスの補助実施率	100%	100%（維持）	100%（維持）	危機対策課
15	災害時の情報伝達	緊急告知ラジオの整備	66%	100%	100%（維持）	危機対策課

(3) 消防力の充実・強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
16	地域の消防力の確保	消防団員の確保率（維持）	94%	100%	100%（維持）	危機対策課
17	消防施設・設備の整備	耐震性貯水槽・消火栓の整備率	83%	85%	90%	危機対策課
18	消防ポンプ車等の整備	消防ポンプ車等の整備、更新	100%	100%（維持）	100%（維持）	危機対策課
19	消防団用資機材の整備	消防団用資機材の充足率	100%	100%（維持）	100%（維持）	危機対策課
20	消防団用被服の整備	消防団新規入団者及び団本部用被服等の充足率	100%	100%（維持）	100%（維持）	危機対策課

(4) 医療救護体制の充実・強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
21	災害時医療救護体制の整備（計画）	医療救護計画の更新	100%	100%（維持）	100%（維持）	健康推進課
22	災害時医療救護体制の整備（資機材）	救護所の資機材（6か所）の充足率	100%	100%（維持）	100%（維持）	健康推進課

(5) 広域支援の受け入れ体制の強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
23	災害発生時の応援職員受け入れ体制の整備	広域受援計画の策定、更新	0%	100%	100%（維持）	危機対策課

4 複合災害・連続災害対策を強化します

(1) 伊豆東部火山群防災対策の強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
24	伊豆東部火山群対策のための協議	関係機関共同による伊豆東部火山群の防災対策を推進する協議会等の開催	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
25	伊豆東部火山群の噴火に備えた避難計画の策定	伊豆東部火山群の伊東市避難計画の策定	50%	100%	100% (維持)	危機対策課
26	伊豆東部火山群の噴火に備えた防災訓練の実施	伊豆東部火山群の伊東市避難計画に基づく継続的な避難訓練の実施	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課

5 地域の防災力を強化します

(1) 自主防災組織の活性化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
27	地域における防災人材の活用	消防活動支援員・防災指導員装備の充足率	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
28	自主防災組織の資機材整備の促進	自主防災組織(169組織)の資機材充足率	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
29	男女共同参画の視点からの防災対策の推進(自主防災組織)	女性が役員として参画している自主防災組織の率	50%	66%	100%	危機対策課

(2) 防災意識の高揚、防災教育の充実

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
30	災害時における避難行動の理解の促進	総合防災ガイドブックの整備・配付	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
31	市民等への防災情報発信	防災講話の実施率	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課

(3) 防災訓練の充実・強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
32	防災訓練の充実・強化(自主防災組織)	自主防災組織における防災訓練の実施率	90%	100%	100% (維持)	危機対策課
33	避難所運営訓練の充実・強化	避難所運営訓練の実施率	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課

(4) 要配慮者の避難体制の整備

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
34	要配慮者の避難訓練の充実・促進	要配慮者を対象とした防災訓練の実施	100%	100% (維持)	100% (維持)	社会福祉課 高齢者福祉課 危機対策課
35	避難行動要支援者台帳の整備	避難行動要支援者台帳の整備、更新	100%	100% (維持)	100% (維持)	社会福祉課

II 被災後も命と健康を守り、生活再建に繋げる

6 被災後の生活の質を向上します

(1) 避難所運営体制の整備・避難生活の健全化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
36	避難所における防災倉庫の整備	避難所における防災倉庫の整備	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
37	マンホールトイレの設置	マンホールトイレ(6か所)の設置率	71%	100%	100% (維持)	危機対策課
38	防災資機材の整備	市で備蓄するラップ式トイレの整備率	64%	100%	100% (維持)	危機対策課
39	防災資機材の整備	市で備蓄するパーテーションの整備率	33%	66%	100%	危機対策課
40	防災資機材の整備	市で備蓄するエアーマットの整備率	19%	67%	95%	危機対策課
41	防災資機材の整備	避難所等用の資機材の整備率	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課
42	給水車両の更新	給水車両の計画的な更新(期間中3台)	0%	66%	100%	水道課
49	避難所における情報収集環境の整備	小中学校の体育館(12か所)におけるWi-Fi環境の整備	—	100%	100% (維持)	危機対策課

(2) 要配慮者の支援体制の整備

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
43	福祉避難所における運営マニュアルの策定	「福祉避難所運営マニュアル」の策定	—	100%	100% (維持)	社会福祉課 高齢者福祉課

7 被災後の生活に備え、備蓄を徹底します

(1) 飲料水・食料等の備蓄の徹底

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
44	市の緊急物資備蓄	市の緊急物資(食料)の備蓄量(約10万食)	100%	100% (維持)	100% (維持)	危機対策課

III 地域を迅速に復旧し、復興に繋げる

8 地域の迅速な再建を目指し着実に復旧し、復興に繋がります

(1) ライフラインの強化

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
45	停電リスク低減のための予防伐採推進	重要停電エリアの予防伐採	10%	100%	100% (維持)	建設課

(2) 遺体への適切な対応

No.	アクション名	目標指標	令和4年度末実績	令和7年度数値目標	令和14年度数値目標	担当課
46	遺体の適切な対応の促進(訓練)	遺体収容所訓練の実施率	100%	100% (維持)	100% (維持)	市民課
47	遺体の適切な対応の促進(資機材)	遺体収容所で使用する資機材の整備率	18%	29%	54%	市民課